

コメント（就任に際して）

34年前の1987年（昭和62年）、当時の津市教育委員会（文化課）のご尽力により、軽音楽部門が、津市民文化祭実行委員会に、遅れて参加した頃には軽音楽（特に、ロック）に対する 偏見や誤解が、まだ残っており、厳しい視線を感じながらのスタートでした。

1991年（平成3年）、三重県軽音楽振興協議会（現在の「K-N e t」）を設立した時に作成し、今も活動のベースになっている「会則」の「主旨（目的）」の中に、「F r i e n d s h i p ! 軽音楽」の成功を明記して、様々な新しい取り組みにチャレンジし、成功を重ねてきました。

例えば、軽音楽部門の運営委員会設立、独自ポスター・チラシの作成、開催費用を補うためのチケット販売、アンケート調査の実施と結果分析、出演者も含めた役割の公平分担、独自の広報活動の実施、市外から優秀団体の招聘などにより、アマチュアミュージシャンたちにとっては、安心して参加ができ、明るい雰囲気の中、楽しく発表ができる「たいせつな場」になり、安定して多くの観客を集めることができるようになりました。

また、出演者とスタッフが丸となって取り組む「アマチュア本来のあり方」の大切さをみんなで学ぶことができ、アマチュア軽音楽活動の本当の楽しさと素晴らしさを多くの方に伝えることができました。

そんな時を経て、2013年（平成25年）、音楽部門（器楽、三曲、合唱、軽音楽、和太鼓）実行委員会の会長に就かせていただき、今年度からは、津市民文化祭実行委員会の会長に選任され、就任いたしました。

コロナ禍のたいへん厳しい時期ではありますが、実行委員の方々のご理解と、事務局（津市文化振興課）のご支援とご協力を得て、微力ながらも、実行委員会と事務局との間のパイプ役を務めたいと思っていますところです。

津市民文化祭 実行委員会 会長  
津市民文化祭 音楽部門 実行委員会 会長  
K-N e t（三重県軽音楽振興協議会）会長

越山仁志